

心理臨床学会会員の皆さま 一代議員選挙にあたってー

心理臨床学会の第4回代議員(社員)選挙の投票用紙がお手元に届いているかと思えます。

さまざまな社会状況の変化の中、心理臨床は大きな変動期に入っています。私たちは精神分析・力動的な視点をもつ臨床家ですが、学派やアプローチの垣根を超えて、若手や中堅の現場からの声を届け、会員のためにより役立ち、対象となるクライアントや現場に還元される学会になる未来を目指して立候補いたしました。それぞれの所信表明をお読みいただければ幸いです。

全国区 岩倉拓

神奈川のあざみ野心理オフィスの岩倉拓です。心理臨床は大きな変化の中にありますが、未だ多くの現場のニーズに応えるには不足している状況です。2期務めた理事の経験から、変革すべきものと守るべきものを見極め、①心理臨床の社会的な認知の拡大②実践の裾野を広げる③それらが学問・研究の裏付けによって発展していくこと、を目指したい。公約は・教育研修の充実、・広報誌、WEBの改善・会員の参加率が上がるような大会の変革、です。

全国区 吉沢伸一

ファミリーメンタルクリニックまつたにの吉沢伸一です。心理臨床の現場は多岐に渡り、社会的ニーズが拡大している一方、専門性と臨床技能の向上が求められます。若手世代や子育て世代、地方の遠隔地で働く会員が必要なサポートをより一層充実させる工夫の余地はまだあります。難しい現場で実践する会員が抱える課題やニーズを集約・把握し、個人を超えた学会組織としての対策を、実践的かつ学術的に検討することに尽力いたします。

関東地区 木下直紀

聖マリアンナ医科大学病院精神療法・ストレスケアセンターの木下直紀です。心理職は国家資格化によって、より高い専門性を求められ、とりわけ、多職種連携の重要性が強調されています。そのためには専門家としての実務能力について他職種から信頼を得ることが前提です。同時に、現場の状況に即応する柔軟性も求められています。各会員が専門性を培い、現場に活かしていくための支援を組織的に実行していく必要があると考えます。

関東地区 山崎孝明

こども・思春期メンタルクリニックの山崎孝明と申します。昨今、社会においてはおろか、心理臨床界においても力動的な視点・実践の意義が見失われようとしています。私は現在、学会広報誌『心理臨床の広場』の編集委員の二期目であり、力動的観点を学会内で保持し、かつ社会に向けて発信することを目指しています。それが結果的に、高いとされる力動学派の研修の敷居を下げることにつながり、ひいては力動学派が生き残ることに貢献すると考えています。

関東地区 山口貴史

愛育クリニックの山口貴史です。現代では幅広い臨床現場の中で個人、組織、社会の役に立つ心理職が求められていますが、十分な研修機会やサポートがないまま現場で働かざるをえないのが現状です。若手や子育て世代でも参加しやすく、かつ多様な世代にとって臨床的・学術的に満足度の高いコンテンツが充実した研修会と大会を運営することを目指します。また、業界内に閉じるのではなく、社会に開かれ、社会に認知されるような学会となるよう力を尽くします。

東海地区 松本拓真

岐阜大学教育学部の松本拓真です。公認心理師の国家資格化による激動の時代に、20～30年先を見越して、私たち若手・中堅の声を反映させることが重要だと考えます。学会の良さでもある丁寧な事例発表と討論を大切に、各技法の尊重からかけがえない個に寄り添うアプローチが再確認されるお手伝いをしたいです。また、地方の充実という視点から、各地で開催できる規模の小さい大会などにより、多くの会員が学び、自分の仕事を誇れることを願います。

ご賛同いただければ、私たちへご投票いただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。
また、**東北地区**の**日野映**さん（みはるの杜診療所）も私たちと志を同じくする若手です。投票をどうぞよろしくお願いいたします。

全国区は1人3票、地区投票は1人2票の投票となっております。投票の締め切りは3月5日（金）の当日の消印有効になります。ご確認ください。

私たちの主張を広く知っていただくため、このお願いをお知り合いの会員の方に呼びかけていただければ幸いです。このメールを転送いただいてもかまいません。よろしくお願いいたします。

2021年2月

岩倉拓
吉沢伸一
木下直紀
山崎孝明
山口貴史
松本拓真

連絡は岩倉のメールアドレスまでよろしくお願いいたします。

iwataku@mxg.mesh.ne.jp